平成２７年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成２８年２月２９日

研究・研修課題名	日本口腔ケア学会　認定資格試験（4級）
研究・研修組織名（所属）	歯科口腔外科
研究・研修責任者名（所属）	関根　浄治（歯科口腔外科）
共同研究・研修者名（所属）	安立　啓子，絲原　千映子（歯科口腔外科）

目的及び方法、成果の内容

①目　　的

口腔ケアは器質的なケアと機能的なケアの２つに分類される．島根大学医学部附属病院歯科口腔外科では，様々な疾患の患者に対し口腔ケアを実施しており，多くの場合は前者の面での介入であるが，摂食嚥下などの機能低下を認める場合は後者の面での介入も行なっている．大学病院の歯科衛生士として，実施する口腔ケアの質を常に向上させていく必要がある．

そのため今回，日本口腔ケア学会 認定資格（4級）を得る事を目的とする．

②方　　法

H27年6月28日に下関海峡メッセにて行なわれる資格認定4級の試験を受験する．

（試験は6月27日,28日に開催される第12回日本口腔ケア学会総会･学術大会に併催される.）

③成　　果

近年，医療の高度化，国民の高齢化に伴い，誤嚥性肺炎の予防，口内炎や口腔乾燥などの改善が強く求められ，さらに“美味しく食べられる”口腔機能の回復などを期待して口腔ケアが注目されている．院内においても癌患者の周術期（化学療法・放射線療法を含む）をはじめとする口腔ケアの重要性が医科にも急速に認識されてきている．

今回，病院医学教育研究助成（研修費）に採択いただき，これまでの知識，臨床経験を整理し，更に学習することにより，歯科の知識は勿論，治療中の口腔ケアが必須とされる血液疾患や心疾患をはじめとする医科の知識についても深めることが出来た．それにより，歯科衛生士として提供できる口腔ケアの質・効率の向上につながった．

また，4級認定資格を得たことにより，更に口腔ケアの実施症例を増やし，上級資格認定を目標としたいというモチベーションの向上にもつながった．

今後は，更に医科との連携を図り，大学病院の歯科衛生士として，患者さんのQOLの向上に寄与したいと考える．

＊一般社団法人　日本口腔ケア学会
　一般社団法人日本口腔ケア学会４級 認定証　受領済　【2016年4月1日】